愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2020年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	専門演習Ⅲ		
担当者(Instructors)	伊藤 龍仁	配当年次(Dividend year)	4
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

本演習は、日本のの子どもの福祉と社会的養育の現状・課題を理解し、専門職として子どもや家族を支援するための資質と人間性の向上および基礎的な実践力を育成することが目標である。また、専門演習Ⅰ・Ⅱから取り組む1年半におよぶフィールドワーク等のゼミ活動を通した問題関心から卒業研究テーマを明確化して先行研究を検討する。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	ディスカッション及びディベート並びにグループワークを取り入れた演習活動を展開するとともに、児童福祉施設等におけるフィールドワークを実施する。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	履修オリエンテーション 役割分担と予定の確認	履修オリエンテーションの後で役割分担を行うとともに前期ゼミ活動の予定を確認する。	□
第2回	卒業研究と卒業研究発表会 卒業研究への取り組み方	卒業研究の要件並びに内容と卒業研究発表会について取り上げる。	□
第3回	問題意識と研究テーマ 個人研究とグループ研究	問題意識から研究テーマを設定する方法を講義する。 個人研究・グループ研究の違いとルールを確認して研究グループ分けを行う。	□
第4回	先行研究について	卒業研究における先行研究の位置づけ並びに先行研究の検討方法についてレクチャーした後にその収集作業に取り組ませる。	□
第5回	研究計画書の作成と提出	問題意識に基づいて設定した研究テーマと研究目標、並びに研究方法等を示した計画書を作成させ、その提出方法を指示する。	□
第6回	研究計画書の提出 研究計画報告会	先に設定した科目フォルダ内に提出させた研究計画書に基づき、それぞれの研究計画書を報告させながらディスカッションを行う。	□
第7回	調査法と調査計画	調査法と調査計画についてレクチャーした後にそれぞれの調査計画を検討させる。	□
第8回	先行研究の検討 先行研究報告書の作成	これまで収集した先行研究を整理しながら概観し、先行研究報告書を作成させ、その提出方法を指示する。	□
第9回	先行研究報告書の提出 先行研究報告会	先に設定した科目フォルダ内に提出させた報告書に基づき、それぞれの先行研究を報告させながらディスカッションを行う。	□
第10回	フィールドワーク又は調査計画の立案	それぞれの研究計画に基づき取り組もうとするフィールドワーク又は調査の詳細な計画を検討させる。	□
第11回	フィールドワーク又は調査の準備	それぞれの研究計画に基づくフィールドワーク又は調査の準備に取り組ませる。	□
第12回	フィールドワーク又は調査の実施	それぞれの研究計画に基づくフィールドワーク又は調査を実施しながら記録をとる。	□
第13回	フィールドワーク又は調査の振り返り 報告書作成	それぞれの研究計画に基づき取り組もうとするフィールドワーク又は調査の記録に基づき報告書を作成させる。	□
第14回	卒業研究前期報告書の作成	これまで作成させた計画書・報告書に基づいて卒業研究前期報告書を作成させ、その提出方法を指示する。	□
第15回	卒業研究前期報告会	提出させた報告書に基づき卒業研究前期報告会を実施して講評した上で後期に向けた取り組み方の確認を行う。	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

事前学習として卒業研究テーマに関連する専門的知識等及び先行研究の収集等を2時間行い、ゼミ指導を終えた後の研究計画書・課題レポートを作成して科目フォルダ内に提出する事後学習を2時間実施する。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

演習授業内に全員に口頭でフィードバックを実施する他、必要に応じて個別に行う。この他、科目フォルダ内に提出された研究計画書・課題レポートにコメントを記載してフィードバックする。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
	◇ 2018子ども発達DP1	小学校教員・幼稚園教諭・保育士になるための表現力、対人関係力、探求心、さらに取得を目指す資格や免許に必須の基礎的な資質能力を身につけられたか。
	◇ 2018子ども発達DP2	小学校・幼稚園・児童福祉施設等における養護・教育・保育に携わることのできる幅広い人間力を体得できたか。
	◆ 2018子ども発達DP3	現代の教育・保育・児童福祉現場に存在する多様な問題や課題に正面から向き合うことのできる力強い実践力を習得できたか。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			10%	90%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

プレゼンテーション・提出物　50%
フィールドワーク・調査　30%
自己開示とコミュニケーション　10%

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1		
2		
3		
4		
5		